

① 後楽園

日本三名園の一つ。約300年前に岡山藩2代藩主池田綱政が藩主のやすらぎの場として作らせた庭園。広い芝生地、池、築山、亭舎が園路や水路で結ばれ、歩きながら移り変わる景色を眺めることができます。

【入園料】※別途入館料が必要
【開園時間】3/20～9/30 7:30～18:00(入園は17:45まで)
10/1～3/19 8:00～17:00(入園は16:45まで)
※行事開催により開・閉園時間の変更あり。【休園日】年中無休

② 岡山城

慶長2年(1597)、豊臣家五大老の一人・宇喜多秀家が築城した岡山城。天守閣は織田信長の安土城天主閣を模して築かれたと伝えられ、全国的にも珍しい不等辺五角形の天守台をしています。

【入館料】※別途入館料が必要
【開館時間】9:00～17:30(入館は17:00まで)
【休館日】12/29～31

③ 夢二郷土美術館

竹久夢二の生誕100年を記念して夢二郷土美術館は後楽園近くに建てられました。赤レンガ造りに風見鶏のある建物は夢二とともに大正時代を偲ぶにふさわしい雰囲気の入館者をお迎えしています

【入館料】※別途入館料が必要
【開館時間】9:00～17:00(入館は16:30まで)
【休館日】月曜日(月曜日が祝日・振替休日の場合は翌日が休館)

④ 吉備津彦神社

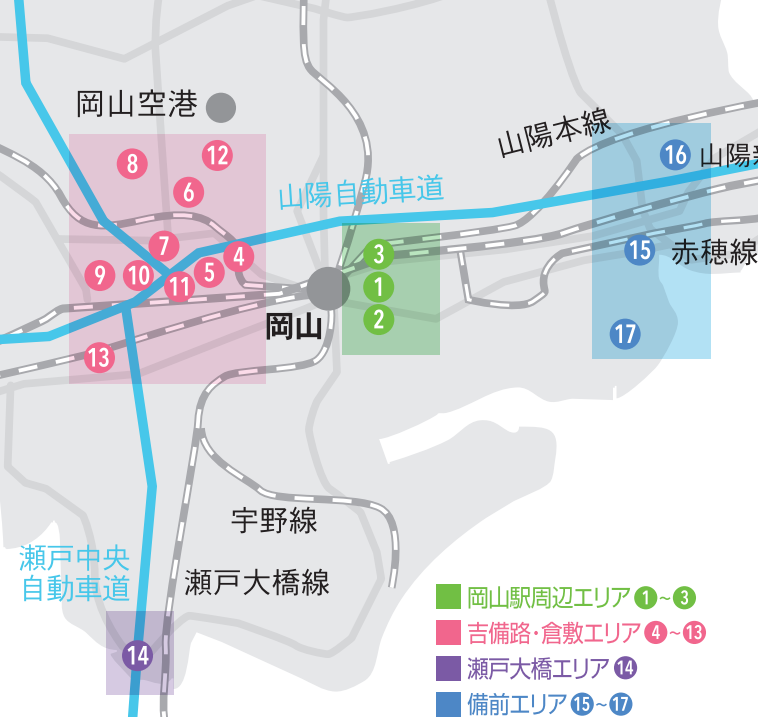
吉備国平定のため朝廷から遣わされた吉備津彦命(きびつひこのみこと)を祀る神社。命の屋敷跡に社殿を建てたのが起源とされています。ご本殿の北に位置する子安神社は、子授け、安産の神として崇敬を集めています。

⑤ 吉備津神社

本殿と拝殿は1425年に再建され国宝に指定されています。吉備津彦命が矢を置いたとされる矢置石や、温羅の首が埋められたと伝わる御釜殿など、吉備津彦命と温羅にまつわる伝説が残っています。

⑥ 備中高松城址

天正10年(1582)、この地で秀吉軍と毛利軍が戦った「高松城水攻め」がありました。現在は、公園として整備され、当時に思いを馳せながら散策を楽しむことができます。毎年7月中旬になると連「宗治連」が咲き乱れ、来園者を楽しませています。



ゆっくりと快適に
おかやまをぶらり

タクシーは
4名まで乗れます!

⑩ 造山古墳

履中天皇陵に次ぐ全国第四位の規模をもつ前方後円墳で、上・中・下の三段からなり、円筒埴輪列を巡らせていた跡が確認されています。墳丘上まで上がれる、全国でも唯一の大型前方後円墳として知られています。

⑪ 鯉喰神社

温羅(うら)伝説ゆかりの地であり、傷を負い、鯉に姿を変えて逃げる温羅を、鵜に変化した吉備津彦命が喰いあげて捕らえたという伝説の残る神社です。

⑫ 高松最上稲荷

日本三大稲荷の一つ。吉備平野を見渡せる地にあり、今から約1200年前に報恩大師によって開かれました。「不思議なご利益がある最上さま」と広く大衆の尊信を集めており、祈願のために多くの参詣者が訪れます。

⑬ 倉敷美観地区

国指定の伝統的建造物群保存地区。風にそよぐ柳並木や、白壁の街並みが美しいコントラストを見せて倉敷川に影をおとし、伝統的な日本建築の美しさを残しています。

⑭ 瀬戸大橋

岡山県と香川県を直結する本州四国連絡橋のひとつで、昭和63年4月10日に開通しました。海峡部9.4kmに架かる6つの橋梁からなりたっており、吊橋、斜張橋、トラス橋など世界最大級の橋梁が連なる姿は壮観です。



ジャンボタクシーは
9名まで乗れます!



特典 おかやまぶらり旅 をご利用の方は対象店舗で 備前焼購入時1割引

(対象作品に限る)※対象店舗はお問い合わせ下さい。

おかやまぶらり旅ならでは!

備前焼の街・伊部では普段見ることのできない備前焼の制作現場を作家の案内で見学、お買い物ができるプレミアムコースをご用意しました。

※作家不在の場合は窯の見学をご遠慮頂く場合がございます。

一陽窯(いちようがま)
興楽園(こうらくえん)
柴岡陶泉堂(しばおかとうせんどう)
桃蹊堂(とうけいどう)
宝山窯(ほうざんがま)

※50音順



⑮ 備前焼の街・伊部

窯元、作家が軒を連ねる備前焼の街。レンガ造りの煙突、土塀をめぐらした家並みはノスタルジックな雰囲気を感じることができます。芸術性の高い作品から日常使いの作品が数多く揃っているので、好みの備前焼を選んでみてはいかがでしょうか。

⑯ 閑谷学校

庶民の子弟の教育を目的として、寛文10年(1670)創立。平成27年に日本遺産に認定。殆どの建造物が文化財に指定されています。儒学の殿堂にふさわしい神秘的な雰囲気を感じることができます。

【入館料】※別途入館料が必要
【開館時間】9:00～17:00(休館日)12/29～31

⑰ 夢二生家記念館・少年山荘

竹久夢二は、大正ロマンの世界を描いた詩人。16歳まで過ごした茅葺きの生家には素描、版画などが展示され、近くにある少年山荘は、夢二が自ら設計し、東京に建てたアトリエを復元したものです。

【入館料】※別途入館料が必要
【開館時間】9:00～17:00(入館は16:30まで)
【休館日】月曜日(月曜日が祝日・振替休日の場合は翌日が休館)